

はるかぜ書房の新刊  
令和3年8月下旬発売

大正浪漫ライブラリー01 『南部修太郎』

大正文学復刻シリーズ第一弾！  
大正の息吹を令和に伝える  
南部の文業と人柄を伝えるアンソロジー

著者：南部修太郎

1916年（大正5年）、慶應義塾大学在学中に『三田文学』にて「修道院の秋」を発表し、卒業後『三田文学』編集主幹となる。芥川龍之介への原稿依頼からその後10年に渡る交友は、後に芥川論、「芥川龍之介の手紙から」を生み出す。若き日の川端康成に多大な影響を与え、「背中をおした」と伝えられる。作家として、編集者として、文芸評論家として確かな足跡を大正文壇に残した。代表作に「修道院の秋」、「湖水の上」、「鳥籠」、「過ぎ行く日」、「白蘭花」等。

解説：永井清剛

愛知淑徳大学創造表現学部教授。専門は日本近代文学。



「自然の音調なんてセンチメンタルに唄ってゐる詩人達に聞かしてやりたいやうな話だね……」

「いや、さう云う云い方そのものも、やつぱりセンチメンタルだよ……」

南部修太郎の文章には、いのち短きものへの尽きない共感と哀憐の情がみなぎっていて、しかもそれは一貫している。花や草木への関心もそうだし、病者への身の寄り添い方もそうだし、また、少女たちに注ぐまなざしもそうだ。自身が抱え込んだ「脆さ」や「崩れやすさ」を直視し続けた南部だからこそ放つことのできる、人肌の温かさのようなものを読者は感じ取ることだろう。

（解説より）

発行発売 はるかぜ書房株式会社

〒248-0027 神奈川県鎌倉市笛田 6-15-19

E-mail: [info@harukazeshobo.com](mailto:info@harukazeshobo.com) Website: [www.harukazeshobo.com](http://www.harukazeshobo.com)

ご注文 文申 込書	注文 数	はるかぜ書房株式会社	
		大正浪漫ライブラリー01 『南部修太郎』 著者：南部修太郎 解説：永井聖剛 A5版・並製 192ページ 定価：1760円（税込）	
		冊 ISBN:978-4-909818-18-8 C0093 ¥1600E	
ご注文は JRC へ		FAX:03-3294-2177 TEL:03-5283-2230	

※返品条件付き注文扱い